

公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長下垣彰則と申します。

まずはじめに、出場された15チームの皆様、審査員の皆様、またオンラインでご覧いただいている皆様、お疲れ様でした。

坂戸ろう学園・大宮ろう学園の皆さん、優勝おめでとうございます。素晴らしいパフォーマンスでした。とってもよかったと思います。

そして準優勝の奈良県立ろう学校の皆さん、第三位、松山聾学校の皆さんもおめでとうございます。

手話言語の聖地、ここ鳥取県で開催した、手話パフォーマンス甲子園のウェブ配信にも全国各地からたくさんの方々にご覧をいただきありがとうございました。

まさに手話言語の理解がますます広がっているということを実感いたしました。

また、佳子内親王殿下より、手話言語での御挨拶を賜り大変感激いたしました。

本日は3年ぶりにステージでの15チームによる激戦を拝見することができ、このエネルギーあふれるパフォーマンスに私も涙があふれました。

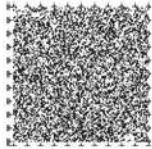
きこえない人ときこえる人がともに見て楽しめるパフォーマンスというのは、本当に素晴らしいものです。

来年は、節目となる10回目の大会を迎えます。どうか皆さんのその情熱でさらに大会を盛り上げてください。

最後に今大会の開催にあたり、一般財団法人全日本ろうあ連盟、日本財団、審査員の皆様、そして出演された高校生の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

では、以上をもちまして第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会といたします。

来年も是非お会いしましょう。本日は誠にありがとうございました。



ほう ふう どう が せい しゅん

抱負動画／青春メッセージ

ほう ふう どう が

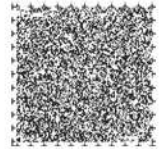
抱負動画

▼動画はこちら



本番に向けた抱負を大会前日に撮影を行い、当日出場チームの受付で上映し、交流をはかりました。

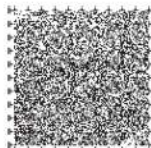




せいしゅん
●青春メッセージ

大会を通して、多くの高校生の手話で広がる、多くの青春がありました。





よ せん しん さ かい 予選審査会

● 日時

令和4年7月28日(木)・29日(金)

● 会場

鳥取県庁特別会議室(オンライン開催)

● 審査員(4名)



ろう者

しょうざきたかし
審査員長:庄崎 隆志さん
演出家・俳優



ろう者

おおたけこうじ
審査員:大竹 浩司さん
全日本ろうあ連盟副理事長



聞こえる人

かどひでひこ
審査員:門 秀彦さん
絵かき



聞こえる人

たなかだいすけ
審査員:田中 大介さん
鳥取大学地域学部 准教授

● 審査方法

各チームから提出を受けた予選審査動画を視聴の上、審査員4名による審査を行い、本大会に出場する15チームを選出しました。



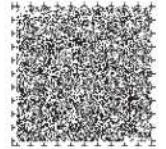
審査会の様子

● 審査結果は全国へ配信

7月29日(金)に、結果発表及び本大会発表順などの発表を行い、その様子を全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



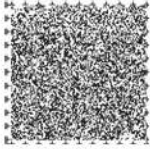
ライブ配信画面・映像の様子



よ せんさん か 予選参加チーム

第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、30都府県から60チーム(60校)の参加申込みがありました。

ブロック名	学校名
北海道・東北 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・青森聾学校(青森県) ・聖光学院高等学校(福島県)
関東 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・竹園高等学校(茨城県) ・東京家政大学附属女子中学校・高等学校(東京都) ・赤城特別支援学校(群馬県) ・クラーク記念国際高等学校東京キャンパス(東京都) ・群馬県立聾学校Aチーム(群馬県) ・群馬県立聾学校Bチーム(群馬県) ・坂戸ろう学園・大宮ろう学園(埼玉県) ・中央ろう学校(東京都) ・松戸向陽高等学校(千葉県) ・青峰学園(東京都) ・大泉桜高等学校(東京都) ・日本女子大学附属高等学校(神奈川県) ・足立東高等学校(東京都) ・横浜南陵高等学校(神奈川県) ・潤徳女子高等学校(東京都) ・横浜富士見丘学園高等学校(神奈川県) ・豊南高等学校(東京都) ・中央農業高等学校(神奈川県)
中部 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・田鶴浜高等学校(石川県) ・桜花学園高等学校(愛知県) ・金沢北陵高等学校(石川県) ・菊華高等学校(愛知県) ・啓新高等学校(福井県) ・杏和高等学校(愛知県) ・身延山高等学校(山梨県) ・安城生活福祉高等専修学校(愛知県) ・静岡城北高等学校(静岡県) ・古知野高等学校(愛知県)
近畿 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・京都八幡高等学校南キャンパス(京都府) ・奈良県立ろう学校(奈良県) ・日星高等学校(京都府) ・聖心学園中等教育学校(奈良県) ・鳴尾高等学校(兵庫県) ・橋本高等学校(和歌山県)
中国・四国 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取城北高等学校(鳥取県) ・岡山県美作高等学校(岡山県) ・米子東高等学校(鳥取県) ・岡山聾学校(岡山県) ・鳥取聾学校(鳥取県) ・ノートルダム清心高等学校(広島県) ・境港総合技術高等学校(鳥取県) ・阿波高等学校(徳島県) ・岩美高等学校(鳥取県) ・池田高等学校辻校(徳島県) ・米子松蔭高等学校(鳥取県) ・高松南高等学校(香川県) ・松江ろう学校(鳥根県) ・尽誠学園高等学校(香川県) ・明誠学院高等学校(岡山県) ・松山聾学校(愛媛県)
九州・沖縄 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・三井高等学校(福岡県) ・延岡しろやま支援学校(宮崎県) ・熊本聾学校(熊本県) ・出水中央高等学校(鹿児島県) ・楊志館高等学校(大分県) ・向陽高等学校(沖縄県) ・大分東明高等学校(大分県) ・真和志高等学校(沖縄県)



こう ほう 広報

● 広告など

- ・日本海新聞／記事体広告（2回）
- ・日本海新聞／うさぎの耳 1ページ（1回）
- ・日本海テレビ／開催告知テレビCM 15秒（54回）
- ・日本海テレビ／情報番組「スパイス」にて告知
- ・日本海テレビ／24時間テレビにて告知
- ・FM山陰／開催告知ラジオCM 20秒（5回）



開催告知テレビCM



日本海新聞／うさぎの耳



情報番組「スパイス」

● チラシなど



A4版チラシ 参加チーム募集編



A4版チラシ 本大会開催PR編



B1版／B2版ポスター



のぼり



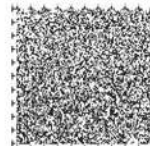
のぼり／卓上



懸垂幕



横断幕



● ホームページ・SNS えすえめえす

公式ホームページサイト、Facebook、Instagram、Twitter、LINE、YouTubeを活用し、大会情報など随時発信しました。また、LINEスタンプを販売しました。

● 手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル しゅわ こうしえん どうが …… チャンネルはコチラ▶

<https://www.youtube.com/user/skoushien>



・ YouTube動画



手話パフォーマンス
紹介編

出場チーム決定編

本大会出場チームによる
大会PR映像



出場チーム抱負編

大会ダイジェスト編

How to
手話パフォーマンス編

・ YouTubeでのライブ配信



7月29日(金)
予選審査結果発表

9月25日(日)
本大会



● 大会ダイジェスト番組 たいかい ばんぐみ

第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場する高校生の青春模様をはじめ、大会の結果や魅力、感動を伝える総集編番組を制作、放送しました。

- ・ 放送日 / 日本海テレビ 令和4年11月13日(日) 15:00～
放送後、Huluでも配信(期間限定)

・ 司会 /

・ ナビゲーター /



たつ ほんどさいん
TATSU(HANDSIGN)さん



なかお まあり
中尾 真亜理さん
日本海テレビアナウンサー



たけむら そうた
竹村 颯太さん
鳥取豊学校



ひしかわ れい
菱川 玲さん
鳥取豊学校

・ レポーター /



いりえ ゆか
入江 佑香さん
鳥取東高等学校



やまだ りあら
山田 莉愛さん
湯梨浜学園中学校・高等学校



あらかわ あいら
荒川 愛良さん
米子南高等学校

● ライトアップ

手話言語の国際デーである9月23日に、全世界の名所や施設でろう者の象徴的な色であるブルーでライトアップが行われるのにあわせて、鳥取県内各所でもライトアップを行いました。



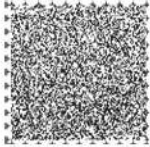
鳥取県庁



倉吉未来中心



米子コンベンションセンター



第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
本大会審査実施要領

1 概要

- (1) 日程 令和4年9月25日(日)
(2) 場所 倉吉未来中心(鳥取県倉吉市)

2 審査員

審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査員長とする。

3 審査方法

5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

4 演技時間等

- (1) 演技時間は、6分以上8分以内とする。
(2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行ったときから開始し、生徒の「ありがとうございました」の手話表現をもって終了する。
(3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。
(4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→ 白
・6分経過(演技時間下限到達。残り2分前)	→ 青
・7分30秒経過(残り30秒前)	→ 黄
・8分超過(演技時間上限超過)	→ 赤

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。
(6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う 等)

5 採点方法

- (1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話言語の 正確性・ 分かりやすさ	演出力・ パフォー マンス度	合計
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
合計	90点満点	210点満点	300点満点

- (2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

ア 手話言語の正確性・分かりやすさ

手話言語が正しく表現されているか。顔の表情も使って、分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が手話言語で伝わり、理解できるか。

イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているか。演技の構成がスクリーンの表示に頼りすぎたものになっていないか。

- (3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議(減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。)により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容	
	差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
	第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
	演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
	定められた演技時間の上限を超過した場合(例:8分を超え8分30秒まで △10点、8分30秒を超え9分まで △20点)	超過 30秒ごとに 10点減点
	定められた演技時間の下限(6分)に達しなかった場合	10点減点
	演技上のセリフや手話言語に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
	その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
	その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

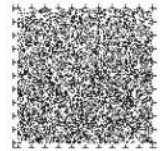
- ・1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。
- ・舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・演技終了の合図(「ありがとうございました」の手話表現)を全く行わず、演技を終了させた場合。

6 表彰チームの決定方法等

- (1) 優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。
(2) 審査得点が高点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。
ア「手話言語の正確性・分かりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。
イアが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。
ウイが同点の場合は、審査員長が順位を決定する。
(3) 審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。
(4) 全日本ろうあ連盟賞は、全日本ろうあ連盟が決定する。
(5) 日本財団賞は、日本財団が決定する。
(6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、鳥取県聴覚障害者協会が決定する。
(7) その他、上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評(審査員名は非公開)を送付する。
(2) 本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点(優勝、準優勝及び3位に限る。)を、大会公式ホームページに掲載する。



しゅ わ こう し えん じっ こう い いん かい
手話パフォーマンス甲子園実行委員会

じっ こう い いん かい い いん

実行委員会委員【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

※令和4年11月末日現在

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 本部事務所長	倉野 直紀
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	澤田 敬子
	鳥取県商工会議所連合会 会長	児嶋 祥悟
	鳥取県教育委員会 教育長	足羽 英樹
	鳥取県福祉保健部長	中西 眞治
相談役	日本財団 理事長	尾形 武寿

かん じ

監事

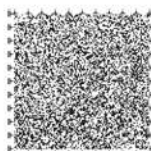
役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	廣坂 麗子
	鳥取県会計管理局会計指導課長	天野 収

き かく すい しん かい ぎ い いん

企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長兼ささえあい福祉局長	中西 眞治
委員	国立大学法人筑波技術大学 講師	小林 洋子
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	清水 愛香
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 教育・文化委員会委員長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会 会長	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭
	鳥取県教育委員会 教育次長	中田 寛
	鳥取県高等学校長会 会長	中島 靖雄
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	二階堂 茂夫
鳥取県立鳥取聾学校 校長	秋田 易子	

▼目の不自由な方のための音声コード



第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

- 主催／手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 共催／鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力／一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 後援／内閣府、厚生労働省、文部科学省、倉吉市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、公益社団法人全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人 NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、一般社団法人日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK 鳥取放送局、BSS 山陰放送、日本海テレビ、TSK さんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM 鳥取、DARAZ FM

●協賛／

●特別協賛／



大塚製薬

SUNTORY

山陰合同銀行

TOTTORI BANK 鳥取銀行

TIC 株式会社鳥取県情報センター

AEON

マルサンアイ鳥取株式会社



株式会社 不二家システムセンター

MARUJI スーパーマーケット マルイ



手話パフォーマンス甲子園実行委員会

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地(鳥取県 福祉保健部 ささえあい福祉局 障がい福祉課内) TEL.0857-26-7682 FAX.0857-26-8136

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

手話パフォーマンス甲子園

検索